

ま ち の 話 題

あれこれ

第23回にいかっぷふるさと祭り

7月13・14日の2日間、新冠駅前広場を中心に『第23回にいかっぷふるさと祭り』が開かれ、町内外から訪れた人々は、新冠の夏の一大イベントを満喫しました。

13日の宵宮祭では、会場にたくさんの露店が立ち並び、ステージでは、新冠判官太鼓の演奏や「向井成一郎」さんのショーが開かれました。また、氷川若衆会を中心とする周慶みこしの練り歩きや俵かつぎリレーなどで盛り上がりました。

14日の本祭は、日中から夜にかけて雨が強く降りしきる時間帯もありましたが、子どもみこしや周慶みこしが町内を練り歩きました。メイン会場では、新冠中学校吹奏楽部による演奏、新冠カピリフラスカールの踊り、また、歌謡ショーでは、アイドルグループの「ポップングスマイル」、ものまね番組でグランプリを獲得した経歴を持つ、モノマネ職人「歌真呂」さん、最後には、実力派演歌歌手「こおり健太」さんの歌声で会場は熱く盛り上がりました。



全道中体連出場選手 鳴海町長を表敬訪問

7月16日、中体連全道大会に出場する新冠中学校生徒12名が町長を表敬訪問しました。生徒たちは、それぞれ抱負を発表し、町長から生徒に対して激励の言葉がありました。

出場種目は、陸上、柔道、バレーボール、卓球の4種目で7月下旬から8月上旬にかけて全道各地で開催される全道大会へ出場します。



消防新冠支署 水難救助隊

水難事故から命を救うために



7月1日、節婦漁港で、新冠支署による『水難救助訓練』が行われました。

これは、近年海や川での痛ましい事故が多発しており、水難救助要請にすばやく対応することを目的に実施されました。

訓練では、車両が海に転落し、男性2名を救助するという想定で行われ、海からの救出後には、心臓マッサージや器具気道確保などの救命処置を行いました。

新冠中3年 矢野なずなさん

テーマは「小さな一歩」



日高管内各町の中学生代表7名が集まり自分たちの思いを熱く語る『少年の主張日高地区大会』が、7月6日、浦河町の日高合同庁舎で開催されました。

新冠町の代表として出場した矢野なずなさんは、「老介護」について自分の思いを熱く発表し、見事最優秀賞を受賞しました。

矢野さんは、9月5日に札幌市で開催される全道大会に出場する予定です。

レ・コード館前で

飲酒運転根絶宣言！



平成26年7月13日、小樽市銭函で、飲酒運転により3人が死亡するひき逃げ事故が発生したことから、北海道では7月13日を「飲酒運転根絶の日」と決めました。

同日、レ・コード館前で、参加者による飲酒運転根絶宣言を行ったほか、ふるさとまつり会場においては、多くの来場者の方に対して、飲酒運転根絶に向けた啓発活動が行われました。

優駿スタリオンステーション

地域の子どもらを招きお餅とお菓子まき



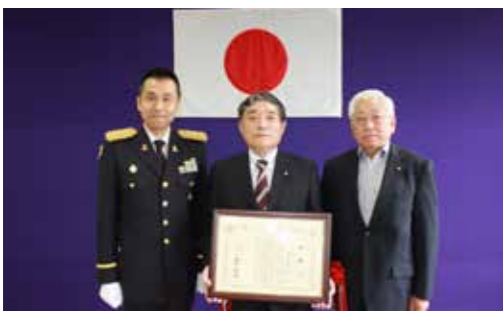
7月5日、朝日地区に建設中の優駿スタリオンステーションが所有する厩舎で餅まきが行われました。

これは、最近では新築の住宅などを建てる際に餅まきが行われることが少なく、子どもたちに餅まきを経験させたいとの思いから、朝日小学校の児童らを招き、実施されました。

子どもたちは、たくさんのお餅とお菓子を袋いっぱいに入れて嬉しみました。

陸上自衛隊静内駐屯地司令から

新冠町自衛隊協力会会長へ感謝状



7月7日、静内駐屯地創設55周年・第7高射特科連隊創設38周年の記念行事が開催されました。

その中で新冠町自衛隊協力会会長を務める鳴海町長に、日頃の自衛隊協力会の健全な運営と会員の防衛意識の普及高揚に努められたことに対し、静内駐屯地司令田中一等陸佐から感謝状が贈呈されました。

新冠の魅力満載バスツアー

鳴海町長 自らバスガイドに



7月20日、鳴海町長がバスガイドを務め、町内の観光スポットなどを巡るバスツアーが行われました。

これは、旅行会社シーピーツアーズ(札幌市)主催により実施され、参加した18名は、道内一の生産量を誇る「ピーマン収穫体験」や世界最大の油彩画がある「アヤマシオ美術館」などを訪れ、新冠町を満喫していました。